

「縁川英子（長谷川テル）先生・劉仁先生を偲ぶ」式典

佳木斯市長谷川テル墓前での山本恒人団長あいさつ

日中友好協会大阪府連合会は盧溝橋事件記念日を前にして、2015年7月1日に「日中不再戦・平和友好の集い」を開催しました。450人の参加者は、戦時下、日本将兵に向かって侵略戦争を批判し、戦争加担をやめるよう訴えた故縁川英子（長谷川照子）の事績に学びました。また集い参加者は、遺児長谷川暁子による「平和への訴え」と「歴史の改竄をやめるよう安倍首相に直言する」訴えを深い共感を持って受けとめました。

今、日中友好協会大阪府連合会は、この集い参加者と長谷川暁子さんと共に、「縁川英子・劉仁」陵墓に立っています。私たちは、日本軍国主義が敗北した記念すべき70周年にあたって、安倍首相による誤った歴史認識に満ちた「談話」に左右されず、侵略戦争における加害者としての国民的反省にもとづき、再び戦争への道を許さず、平和憲法を守り抜く、眞の「未来志向」を誓うため、佳木斯市と長谷川テル女子陵墓を訪問したのです。今は亡き長谷川テルさん、劉仁先生、あなたがたの勇気ある国際反戦の行動は日本国民の誇りであります。私たちはあなた方に学び、日中不再戦と日本国憲法を守って生きて参ります。

併せて、ここに改めて、「縁川英子（長谷川照子）・劉仁陵墓」を建設し、守り抜いて下さっている佳木斯市政府と市民に対して、心からの感謝と敬意を表明いたします。

参加者：

団長 山本恒人（日中友好協会大阪府連合会副会長、大阪経済大学名誉教授）、長谷川暁子（同志社大学講師）、以下17名（総員19名）